

市の課題に提言続々

日置 小中生が子ども議会

日置市議会の議場で7月27日、子ども議会があった。市内の全公立小中、義務教育学校から22人が議員として出席。環境問題や過疎化対策など市政の課題について考えを堂々と述べ、市当局をたじた。

市立の全校が参加して開くのは初めて。8人が登壇し、「18歳ま

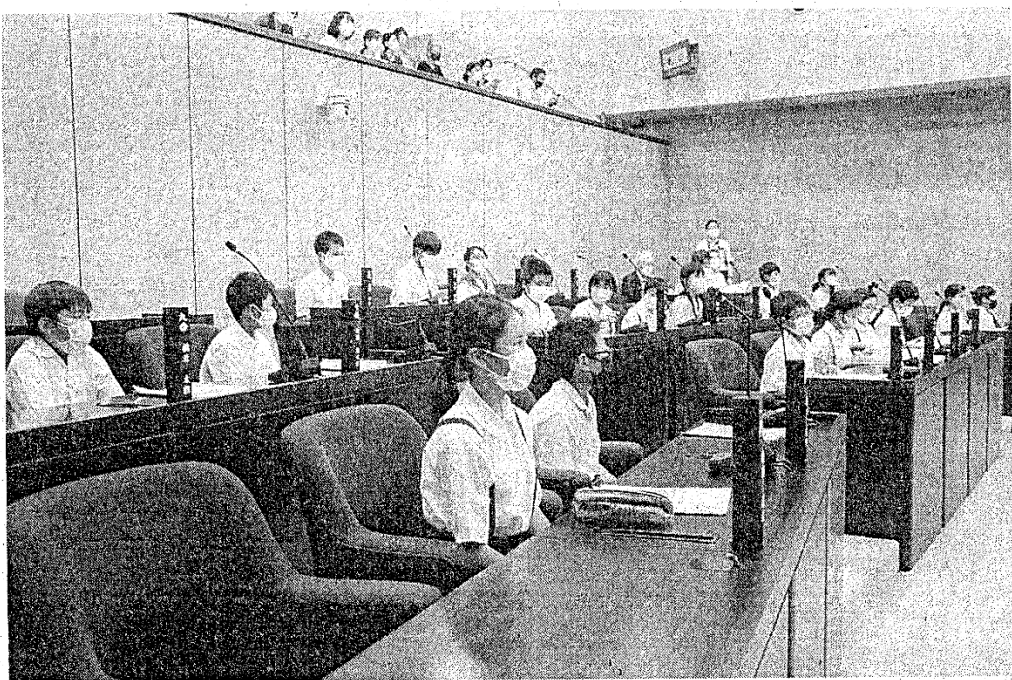
での子どもが安心して利用できる施設を造る」「コロナ後に客を呼び込めるイベントをして活性化を図る」などアイデアを示し、市の取り組みを聞いた。当局は、本会議さながらの答弁書を用意して回答した。

上市来中3年の濱部新さんは、地域の実態を基に過疎地の高

齢者の買い物支援や健康づくりについて提言。「学校でアンケートをして問題点を探り、質問にまとめた。市の未来を考える機会になった」と話した。

議会を終えた永山由高市長は「子どもたちの市をよくしたいという問題意識は参考になった」と語った。

(吉田文)



子ども議会に臨む小中学生＝日置市議会議場